

Introduction of NEDO New Delhi Activities

September 18th 2023

Yoshiro Kaku NEDO New Delhi Office

Overview of NEDO

(New Energy and Industrial Technology Development Organization, under METI)



Positioning of NEDO

- In its role as an **innovation accelerator**, NEDO formulates project plans and establishes project implementation frameworks by combining the capabilities of industry, academia, and government, including public solicitations of project participants.
- NEDO carries out research and development projects and set targets based on changes in social conditions in order to realize maximum results.



Head Office:	Kawasaki City, Japan		
Personnel:	1,256 (as of 1 st April,20	021)	
Budget:	Approx.\$1.28 billion (20)22FY)	* \$=122 yen
Fund:	Green Innovation	\$16.39	billion
	Semiconductor	\$5.06	billion
	Post 5G	\$2.54	billion
	Economic Security	\$1.02	billion
	Moonshot	\$207	million



NEDO's Core Technologies





NEDO India's Main Activities



Energy/Environment

R&D/Startup Collaboration

Economic Security

Promoting further India-Japan Collaborations

R&D / Startup Collaboration

India's Science & Technology Level has been increasing

• The importance of India's papers in the field of S&T has increased.

The number of them increased 7 times from 21,400 (2000) to 149,200 (2020). Its global share has increased every year (3rd in the world). (XJapan's number of papers in this field was surpassed by India's in 2015)

• They have strengths in **chemistry, materials science, physics, computers & mathematics, and engineering**.

• The number of **doctoral degrees in S&T** in India has shown rapid growth in recent years.





Sources : NCSES, special tabulations (2018) by SRI International and Science-Metrix of Elsevier's Scopus abstract and citation database.

Sources : NCSES, special tabulations (2021) by SRI International

and Science-Metrix of Elsevier's Scopus abstract and citation database.

Comparison of R&D-related FDI* trends by country

*Foreign Direct Investment

- Global tech companies has been trying to become "Indian insiders," setting up R&D centers and working with Indian high-level human resources and startups to develop the world's most advanced technologies.
 - India attracted 225 R&D FDIs (worth \$14.9 billion) during 2022 (Jan-Oct), according to a study by fDi Markets, UK.
 - This represents a 1.5-fold increase over last year. It accounts for one-third of the world's total R&D FDI, more than double that of the U.S., the second largest FDI destination.
 - This is indicative of a trend where global companies are augmenting their own engineering R&D departments in India.
 - The largest amount of R&D FDI in India was in the state of Karnataka with Bengaluru.



Status of International Co-authored Papers in S&T in Japan and the U.S.

(*Japanese ONLY)

Japan

日本	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
<u>م</u>	米国	中国	ドイツ	英国	フランス	韓国	カナダ	イタリア	オーストラリア	台湾
主方野	35.1%	17.48	6 10.7%	9.8%	8.1%	8.1%	5.5%	4.8%	4.7%	3.7%
1. **	中国	米国	韓国	ドイツ	フランス	英国	インド	台湾	カナダ	オーストラリア
67	22.2%	21.1	9.3%	8.5%	7.0%	5.7%	5.4%	3.5%	3.3%	3.1%
++++	中国	米国	韓国	ドイツ	英国	インド	フランス	オーストラリア	カナダ	台湾
M科科学	29.1%	17.0	12.5%	6.5%	5.7%	5.1%	5.0%	3.3%	2.9%	2.3%
14. TH 444	米国	ドイツ	中国	フランス	英国	イタリア	ロシア	韓国	スペイン	スイス
房理子	38.2%	21.6	6 16.2%	15.6%	15.5%	11.25	10.4%	10.3%	8.5%	7.5%
計算機・	米国	中国	ドイツ	韓国	フランス	英国	カナダ	イタリア	スペイン	台湾
数学	22.1%	20.3	8.6%	8.5%	8.5%	6.6%	4.9%	4.1%	3.9%	3.7%
	中国	米国	韓国	ドイツ	英国	フランス	オーストラリア	カナダ	台湾	イタリア
17	24.9%	22.5	9.7%	7.2%	6.3%	5.8%	3.8%	3.6%	2.9%	2.5%
環境・	米国	中国	英国	ドイツ	フランス	オーストラリア	カナダ	韓国	インド	ロシア
地球科学	34.0%	20.1	10.8%	10.5%	9.2%	7.15	7.0%	6.8%	4.7%	3.9%
10 ct 11 44	米国	中国	英国	ドイツ	カナダ	オーストラリア	フランス	イタリア	韓国	オランダ
暗床齿子	52.7%	13.3	10.6%	9.0%	6.4%	6.2%	6.2%	5.9%	5.9%	5.1%
基礎	米国	中国	英国	ドイツ	韓国	フランス	カナダ	91	オーストラリア	イタリア
生命科学	39.3%	13.19	9.2%	7.5%	6.4%	5.5%	5.2%	4.8%	4.5%	2.5%

主要な国際共著相手国・地域(2019-2021年、%)										
日本	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
40m	米国	中国	ドイツ	英国	フランス	オーストラリア	韓国	イタリア	カナダ	スペイン
主力對	33.1%	25.7%	13.3%	12.8%	9.9%	8.2%	7.6%	7.1%	6.9%	5.6%
化学	中国	米国	ドイツ	フランス	韓国	英国	インド	オーストラリア	台湾	91
10-7-	28.6%	17.3%	8.9%	7.2%	6.7%	6.5%	6.0%	5.7%	4.9%	3.6%
材料利学	中国	米国	韓国	ドイツ	オーストラリア	英国	フランス	インド	台湾	ロシア
10411-1-	38.5%	16.2%	9.6%	7.6%	6.4%	5.9%	5.7%	5.5%	4.6%	3.0%
Ata TEL Ata	米国	中国	ドイツ	英国	フランス	イタリア	ロシア	韓国	スペイン	スイス
10月至1月	41.7%	26.9%	26.3%	20.0%	19.9%	14.8%	11.6%	11.6%	11.3%	10.8%
計算機・	中国	米国	ドイツ	英国	フランス	韓国	カナダ	台湾	イタリア	オーストラリア
数学	33.7%	18.4%	8.0%	7.8%	7.7%	5.6%	5.0%	5.0%	4.7%	4.7%
工学	中国	米国	英国	ドイツ	韓国	オーストラリア	フランス	インド	ベトナム	マレーシア
±+	40.1%	15.1%	7.0%	5.2%	5.2%	5.0%	4.9%	4.6%	3.8%	3.7%
環境・	米国	中国	英国	ドイツ	オーストラリア	フランス	カナダ	韓国	イタリア	インド
地球科学	28.5%	28.4%	13.6%	12.7%	10.5%	10.1%	7.4%	6.0%	5.3%	5.0%
	米国	英国	中国	ドイツ	イタリア	カナダ	フランス	オーストラリア	韓国	オランダ
始体区子	57.0%	19.3%	17.7%	16.1%	13.8%	13.2%	12.8%	12.3%	10.0%	9.7%
基礎	米国	中国	ドイツ	英国	オーストラリア	フランス	カナダ	韓国	91	スウェーデン
生命科学	36.8%	17.0%	12.3%	11.9%	7.3%	7.2%	6.9%	5.5%	5.0%	4.7%

US

米国	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
~~m	中国	英国	ドイツ	カナダ	フランス	イタリア	日本	韓国	オーストラリア	スペイン
E 77 F7	14.0%	13.2%	12.5%	11.5%	8.3%	7.1%	6.9%	5.5%	5.4%	5.1
化学	中国	ドイツ	英国	韓国	フランス	日本	カナダ	イタリア	インド	スペイン
	19.1%	10.9%	8.7%	7.4%	6.5%	6.2%	5.6%	5.1%	5.0%	4.4
	中国	韓国	ドイツ	英国	日本	カナダ	フランス	インド	台湾	イタリア
M #919-5*	23.9%	12.9%	9.1%	7.2%	6.3%	5.2%	4.9%	4.2%	3.6%	3.6
Ato 110 Ato	ドイツ	英国	フランス	中国	イタリア	日本	カナダ	スペイン	ロシア	スイス
勿枉于	22.8%	18.6%	15.8%	13.9%	11.6%	10.8%	9.9%	9.1%	7.6%	6.7
計算機・	中国	カナダ	英国	フランス	ドイツ	韓国	イスラエル	イタリア	スペイン	日本
数学	18.2%	9.7%	8.6%	8.2%	8.0%	6.2%	5.0%	4.8%	4.0%	3.3
T#	中国	韓国	カナダ	英国	ドイツ	イタリア	フランス	日本	台湾	スペイン
	21.2%	10.4%	8.3%	5.9%	5.7%	5.3%	5.0%	4.7%	4.6%	3.3
環境・	中国	英国	カナダ	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本	イタリア	スイス	スペイン
地球科学	15.6%	14.5%	14.15	11.7%	10.0%	7.9%	5.9%	5.0%	4.8%	4.4
吃店医学	カナダ	英国	ドイツ	中国	イタリア	フランス	オランダ	日本	オーストラリア	スペイン
	15.4%	14.15	13.0%	9.8%	9.7%	7.15	6.7%	6.7%	6.6%	5.0
基礎	英国	中国	カナダ	ドイツ	日本	フランス	オーストラリア	イタリア	スペイン	オランダ
生命科学	13.65	10.00								
主要な国際	祭共著相手国	12.3m 国·地域(201	11.5% 9-2021年、	11.45 5)	7.2%	7.15	5.8%	5.8%	4.5%	4.4
<u>主要な</u> 国 米国	祭共著相手国 1位	12.3% 国·地域(201 2位	11.5% 9-2021年、 3位	11.4% %) 4位	7.2% 5位	7.1s 6位	5.8% 7位	5.8% 8位	4.5% 9位	4.4 10位
主要な国際 米国 全分野	<u>祭共著相手</u> 国 1位 中国	12.3s 国•地域(201 2位 英国	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ	11.4% %) カナダ	7.2% 5位 フランス	7.15 6位 オーストラリア	5.8% 7位 イタリア	5.8% 8位 日本	4.5% 9位 スペイン	4.4 10位 オランダ
主要な国 米国 ^{全分野}	祭共著相手 1位 中国 27.6%	12.3% 国・地域(201 2位 英国 14.5%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8%	11.4% %) 4位 カナダ 11.0%	7.2% 5位 フランス 7.7%	7.1% 6位 オーストラリア 7.2%	5.8% 7位 イタリア 7.2%	5.8% 8位 日本 5.7%	4.5% 9位 スペイン 5.6%	4.4 10位 オランダ 5.2
主要な国 米国 全分野 N学	祭共著相手目 1位 中国 27.6%	12.5% 国・地域(201 2位 英国 14.5% ドイツ	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国	11.4% %) カナダ 11.0% 韓国	7.24 5位 フランス インド	7.1% 6位 オーストラリア 7.2% フランス	5.8% 7位 イタリア 7.2% カナダ	5.8% <u>8位</u> 日本 	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本	4.4 10位 オランダ 5.2 スペイン
<u>主要な国</u> 米国 ^{全分野} ^{比学}	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3%	12.3m 副・地域(201 2位 英国 14.5% ドイツ 9.7%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3%	11.4% %) 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9%	7.24 5位 フランス インド 5.6%	7.1% 6位 オーストラリア 7.2% フランス 5.6%	5.8% 7位 イタリア 7.2% カナダ 5.3%	5.8% <u>8位</u> 日本 5.7% イタリア 5.0%	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8%	4.4 10位 オランダ 5.2 スペイン 4.2
<u>主要な国際</u> 米国 全分野 化学	株式 株式 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国	12.35 <u>2位</u> 英国 14.55 ドイツ 9.75 韓国	11.5% 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3%	11.4% <u>4位</u> カナダ 11.0% 韓国 美国	7.24 5位 フランス 7.75 インド 5.65 日本	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド	585 7位 イタリア 725 カナダ 535 カナダ	58% 8位 日本 イタリア 50% フランス	45% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア	4.4 10位 オランダ 5.2 スペイン 4.2 イタリア
<u>主要な国</u> 米国 全分野 ド学 材料科学	祭 <u>共著相手</u> 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8%	12.3% 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 英国 6.5%	7.24 5位 フランス 7.75 インド 5.65 日本 4.65	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 4.55	585 7位 イタリア カナダ 5.35 カナダ 4.45	58% 8位 日本 57% イタリア 50% フランス 4.0%	45% 9位 スペイン 56% 日本 48% オーストラリア 4.0%	4.4 10位 オランダ 5.2 スペイン 4.2 イタリア 3.1
<u>主要な国</u> 米国 全分野 ド学 材料科学 物理学	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8%	12.3% 14.5% ドイツ 韓国 ドイツ 第3.5% 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% 14.5% ドイツ 14.5% ドイツ 14.5% 14.5	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4% 英国	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス	7.23 5位 フランス 7.75 インド 5.65 日本 4.65 イタリア	6位 オーストラリア フランス インド 4.5% 日本	7位 イタリア カナダ カナダ カナダ スペイン	58% 8位 日本 イタリア フランス 4.0% カナダ	45% 9位 スペイン 56% 日本 48% オーストラリア 4.0% スイス	4.4 10位 オランダ 5.2 スペイン 4.2 イタリア 3.1 ロシア
<u>主要な国</u> 米国 全分野 化学 材料科学 物理学	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8% 中国 27.1%	12.3% 副・地域(201 2位 英国 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3%	7.25 5位 フランス インド 日本 イタリア 13.15	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 4.55 日本 11.85	5.8% 7位 イタリア フ.2% カナダ 5.3% カナダ 4.4% スペイン 10.4%	5.8% 8位 日本 イタリア フランス イの5 カナダ 10.4%	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 イントラリア 4.0% スイス 8.7%	10位 オランダ 5.2 スペイン 4.2 イタリア 3.1 ロシア 8.4
<u>主要</u> 国 全分野 化学 材料科学 物理学	祭共著相手目 1位 中国 35.3% 中国 49.8% 中国 27.1% 中国	12.3% 14.5% ドイツ 第国 8.9% ドイツ 24.2% 英国	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 美国 8.3% ドイツ 7.4% 美国 21.7% カナダ	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ	7.23 5位 フランス インド 日本 イクリア 13.1% フランス	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 4.55 日本 11.85 韓国	5.8% 7位 イタリア カナダ 5.3% カナダ 4.4% スペイン 10.4% インド	58% 8位 日本 イタリア フランス イクリア フランス イクリ オーストラリア	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア スイス 8.7% イタリア	44 10位 オランダ 52 スペイン 42 イタリア 3.1 ロシア 8.4 スペイン
<u>主要な</u> 国 記	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8% 中国 27.1% 中国 38.6%	12.3% 14.5% ドイツ 第日 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 美国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7% カナダ 7.8%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1%	7.23 5位 フランス インド 日本 イタリア 13.15 フランス 5.65	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55	5.8% 7位 イタリア カナダ 5.3% カナダ 4.4% スペイン 10.4% インド 4.3%	58% 8位 日本 イタリア 57% フランス 40% カナダ 10.4% オーストラリア 4.1%	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イタリア 4.1%	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 31 ロシア 8.4 スペイン 3.1
<u>主要回</u> 主要回 上学 レ学 オ料科学 機・ マ学 工学	株芸相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 35.3% 中国 27.1% 中国 27.1% 中国 38.6%	12.3% 14.5% ドイツ 第日 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 美国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7% カナダ 7.8% 韓国	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ	7.25 5位 フランス インド 日本 イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 日本 11.85 韓国 4.55 インド	5.8% 7位 イタリア カナダ カナダ 4.4% スペイン 10.4% インド 4.3% イタリア	58% 8位 日本 57% イタリア 50% フランス 40% カナダ 10.4% オーストラリア 4.1% オーストラリア	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イラリア 4.1% イラン	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 31 ロシア 84 スペイン 31 フランス
<u>主要な</u> 国 全分野	株式 株式 相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8% 中国 27.1% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 34.6% 46.5%	12.3% 14.5% ドイツ 第国 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 6.6%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7% カナダ 7.8% 韓国 6.5%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7%	7.2% 5位 フランス インド 日本 イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8%	7.15 6位 オーストラリア フランス フランス インド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55 インド インド	5.8% 7位 イタリア カナダ カナダ 4.4% スペイン 10.4% インド イタリア 4.2%	58% 8位 日本 57% イタリア 50% フランス 40% カナダ 10.4% オーストラリア 4.1% オーストラリア 3.9%	4.5% 9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イクリア 4.1% イラン 3.7%	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 31 ロシア 84 スペイン 31 フランス 36
<u>主要</u> 回 主要回 全分野 ド学 材料科学 物理学 計算機・ 数学 工学 環境・ 二学	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.8% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国	12.3% 14.5% ドイツ 第国 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 6.6% 英国	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7% カナダ 7.8% 韓国 6.5% カナダ	11.4% 11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7% ドイツ	7.2% 5位 フランス 7ンド 5.6% 日本 4.6% イクリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8% オーストラリア	7.15 6位 オーストラリア フランス フランス インド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55 インド インド インド インド インド フランス	5月5 7位 イタリア カナダ 5,35 カナダ 4,45 スペイン 10,45 イシド 4,35 イタリア 4,25 スペイス	585 8位 日本 イタリア フランス 4.05 カナダ 10.45 オーストラリア 4.15 オーストラリア 3.95 スペイン	9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イタリア 4.1% イラン 3.7% イタリア	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 31 ロシア 84 スペイン 31 フランス 35 オランダ
<u>主要回</u> <u>主要回</u> な な な か 野 一 本 和 学 一 報 や 学 、 報 本 、 学 、 報 本 、 学 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.6% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 46.5% 中国 46.5% 中国 32.5% 	12.3% 国・地域(201 2位 英国 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 6.6% 英国 15.0%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 8.3% ドイツ 7.4% 英国 21.7% カナダ 7.8% 韓国 6.5% カナダ 12.0%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7% ドイツ 11.5%	7.2% 5位 フランス インド 日本 4.6% イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8% オーストラリア 9.3%	7.1% 6位 オーストラリア 7.2% フランス 5.6% インド 4.5% 日本 11.8% 韓国 4.5% ブンド 4.5% ブンド 8.9%	585 7位 イタリア カナダ 5.35 カナダ 4.45 スペイン 10.45 イタリア 4.25 イタリア 4.25 スイス 5.25	585 8位 日本 イタリア フランス 405 カナダ 10.45 オーストラリア 4.15 オーストラリア 3.95 スペイン 5.25	9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イタリア 4.1% イラン 3.7% イタリア 5.0%	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 3.1 ロシア 8.4 スペイン 3.1 フランス 3.6 オランダ 4.5
<u>主要回</u> 主要回 なな なな な な な か 野 本 や 、 料 料 学 、 報 や 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 49.6% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 32.5% 英国	12.3% 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 6.6% 英国 15.0% カナダ	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 21.7% カナダ 21.7% 約 約 21.7% 12.0% 中国	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7% ドイツ 11.5%	7.2% 5位 フランス インド 日本 イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8% オーストラリア 9.3% イタリア	7.15 6位 オーストラリア フランス フランス 1ンド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55 インド 4.55 フランス 8.95 オーストラリア	5.8% 7位 イタリア カナダ カナダ シーズ インド イシド イシド イシド イシド イシド スペイン 4.3% イシ スイス スイス 5.2%	8位 日本 5.7% イタリア 5.0% フランス 4.0% カナダ 10.4% オーストラリア 4.1% オーストラリア 3.9% スペイン 5.2% フランス	9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イクリア 4.1% イラン 3.7% イクリア 5.0% スペイン	10位 オランダ 52 スペイン イタリア 3.1 ロシア 8.4 スペイン 3.1 フランス 3.6 オランダ 4.5 日本
<u>主架</u> 全分野 上 対 物 学 和 学 様 、 学 、 森 取 工 電 想 求 医 の 野 工 電 想 求 学 、 、 和 、 学 、 和 、 学 、 和 、 学 、 和 、 学 、 和 、 学 、 和 、 学 、 和 、 学 、 、 和 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	祭共著相手目 1位 中国 35.3% 中国 35.3% 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 32.5% 英国 18.6%	12.3% 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 5.0% 大国 15.0% カナダ 16.7%	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 21.7% カナダ 21.7% 韓国 6.5% カナダ 12.0% 中国 18.5%	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7% ドイツ 11.5% ドイツ 11.5%	7.2% 5位 フランス インド 日本 4.6% イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8% オーストラリア 9.3% イタリア 11.1%	7.15 6位 オーストラリア フランス 5.65 インド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55 7ランス 2.5シス 7ランス 8.95 オーストラリア 9.45	5.85 7位 イタリア フ.25 カナダ 5.35 カナダ 4.45 スペイン 10.45 インド 4.35 イシド 4.25 スイス 5.25 オランダ 8.55	585 8位 日本 イタリア フランス イクリア フランス 405 カナダ 10.45 オーストラリア 4.15 オーストラリア 3.95 スペイン 5.25 フランス 8.35	9位 スペイン 5.6% 日本 4.8% オーストラリア 人のち、 スイス 8.7% イタリア 4.1% イラン スパス スパス スパス スパス スパス スパス スパス イクリア えのち、 スペイン ア.1%	10位 オランダ 522 スペイン 42 イタリア 3.11 ロシア 8.4 スペイン 3.17 フランス 3.6 オランダ 4.5 日本 6.9
<u>主架</u> 全分野 に 材 物 学 料 学 準 境 彩 平 二 電 息 取 工 電 息 取 二 電 息 取 二 電 息 取 二 電 息 取 二 電 息 取 二 電 息 取 二 電 し 取 二 電 見 学 二 和 一 学 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 和 一 学 本 一 和 一 学 本 一 の 和 一 学 一 、 本 和 一 学 一 、 本 和 一 一 の 本 一 の 一 の 一 の の の 一 の の の の の の の の の の の の の	祭共著相手目 1位 中国 27.6% 中国 35.3% 中国 35.3% 中国 27.1% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 38.6% 中国 32.5% 英国 18.6% 中国	12.3% 14.5% 2位 英国 14.5% ドイツ 9.7% 韓国 8.9% ドイツ 24.2% 英国 9.6% 英国 15.0% 英国 15.0% 大丁ダ 16.7% 英国	11.5% 9-2021年、 3位 ドイツ 11.8% 英国 21.7% カナダ 21.7% 約丁ダ 7.8% 韓国 6.5% カナダ 12.0% 中国 16.5% ドイツ	11.4% 4位 カナダ 11.0% 韓国 5.9% 英国 6.5% フランス 16.3% ドイツ 7.1% カナダ 5.7% ドイツ 11.5% ドイツ 11.5%	7.2% 5位 フランス インド 日本 4.6% イタリア 13.1% フランス 5.6% ドイツ 4.8% オーストラリア 11.1% オーストラリア 11.1%	7.15 6位 オーストラリア 7.25 フランス 5.65 インド 4.55 日本 11.85 韓国 4.55 インド 4.35 フランス 8.95 オーストラリア 9.45 フランス	5.85 7位 イタリア フ.25 カナダ 5.35 カナダ 4.45 スペイン 10.45 インド 4.35 インド 4.35 イクリア 4.25 スイス 5.25 オランダ 8.55 ブラジル	58% 8位 日本 57% イタリア 50% フランス 40% カナダ 10.4% オーストラリア イニストラリア スペイン 52% フランス 83% イタリア	9位 スペイン 56% 日本 4.8% オーストラリア 4.0% スイス 8.7% イタリア 4.1% イラン 3.7% イタリア 5.0% スペイン 7.1% 日本	4.4 10位 オランダ 522 スペイン 42 イタリア 3.1 ロシア 8.4 スペイン 3.1 フランス 3.6 オランダ 4.5 日本 6.9 スペイン

7.2%

6.2%

6.2%

5.6%

5.4%

14.6%

22.4%

11.6%

10.9%

Sources : "Benchmarking of Scientific Research 2023," Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), colored yellow.

Status Survey on International Joint R&D



 Outbound Indian students are highest in US, Australia & Canada while Japan lags far behind at 23rd rank with just ~0.25 % of total outbound students from India

Indian Outbound Students (Top 10 nations + Japan)



Status Survey on International Joint R&D



In March 2022, NEDO India compiled a <u>Status Survey Report</u>, concerning international joint R&D and start-up support at Indian universities including IITs, NITs and IISc. This research was commissioned to NRI India.

•Key Insights:

- >Key Institutes: Older IITs (estd before 2008) and IISc have the highest number of international Joint R&D projects
- >Industry and Academia: ~75% collaborations are with academia; lack of collaborative R&D with industry partners
- >Major Collaborating Countries: US, European countries (Germany, France, UK, etc.), Australia are major collaborators
- Collaboration with Japan: Contribution from Japan is not as significant except for IIT Hyderabad and IIT Guwahati



NEDO's R&D Support Program for Promoting Innovative Clean Energy Tech

• Program Outline

✓ The aim of this program is to develop and strengthen international joint Research and Development between Japan and other countries in order to create new and innovative clean energy technologies that will have practical use after 2040.

This program supports Japanese research institutes and universities conducting joint international R&D projects with institutions from G20 member and other countries.

• Program Scheme



XIndian universities and companies may also participate in the program together with Japanese research institutes/universities.

• Project Details

Project scheme	International collaboration between Japanese research institutes/universities and research institutes/universities overseas. Private companies may participate but only when research institutes/universities also participate.							
Project budget	Maximum of almost INR 1.5 crores per project/per year. Note: NEDO will only fund the Japanese side of the international collaboration.							
Project term	Maximum of 3 years.							
Target technologies	 Clean energy technologies, including RE and energy- saving and environmental technologies that will have practical application after 2030. 3 R&D themes have been selected for FY2023. 							
Project with India-Japan collaboration	"Development of Innovative High-temperature Thermal Energy Storage technology" (Hokkaido univ., AIST, IIT Jammu etc.) has been adopted in FY2021.							



systems.

Overview of Supporting Deep Tech Startups by Stage



EDO

Overview of "Deep Tech Startups Support Program"



Budget : 100B JPY(around 750M US\$) for 5years (1USD=135JPY)



- Practical Use Study Support program (STS & PCA): the program supports the development of production technology by prototyping, joint R&D with other companies, implementation of F/S surveys and so on.
- Mass Production Demonstration Support program (DMP): the program supports initial costs for mass
 production demonstration such as design, fabrication, installation, building facilities and so on.
- Overseas Technology Demonstration program: the program supports for a series of overseas development products, including R&D costs for conforming to overseas markets and regulations and costs for demonstrating products and services in the local markets.

	Subsidy amount (up to	2/3 of total amount)	Period		
STS: Seed-stage Technology-based Startups (Seed Stage)	Up to 300 M JPY (2.2M USD)	Up to 3 B JPY (22M USD)	2-4 Years	6 Years in maximum	
PCA: Product Commercialization Alliance (Early Stage)	Up to 500 M JPY (3.7M USD)	(*Possible to support overall periods if the startup clear the stage-gate.)	2-4 Years		
DMP: Demonstration development for Mass Production	Up to 2.5 B JPY (19M USD)				

Energy / Environment

New Energy and Industrial Technology Development Organization

International Energy Demonstration Project



- Purpose
 Contribute to solving foreign energy problems through a demonstration of Japanese technology and systems for energy conservation.
 - ✓ Contribute to obtaining energy security by reducing energy consumption through the dissemination of technology.



Implemented NEDO Demonstration Projects in India





Recent Projects in India



Dissemination

Demonstration

1 Fuji Electric (2014-2021)



- Energy saving in steel plants at the SAIL Banpur Plant in West Bengal.
- Launched a promotion video for this project.



2 Panasonic (2020-)









- Introduction of a system to optimize the operation of EV operators and drivers in the last-mile transportation.
- Demonstration is planned to start from 2023 in Delhi, collaborated with the Delhi Metro.
- Aiming to ensure a stable supply of electricity in unelectrified areas.
- After the demonstration is completed in Delhi, Nissin will try to disseminate this technology to remote areas.

Recent Projects in India



Feasibility Study (FS)

4 IHI Corp., Kowa Company (2022-) 5 Yamanashi Hydrogen Company, Suzuki (2022-)

6 Sojitz, JR Freight, Suzuki (2021-)



 Aiming to study various technologies and evaluate the economic feasibility of co-firing 20% ammonia gas into the existing boilers at APL(Adani Power Ltd.)-owned Mundra Coal Power Plant in Gujarat.



 This project will study the possibility of establishing an optimal thermal operation system in a Maruti-Suzuki automobile plant, by utilizing green hydrogen produced there.



Basic Study (Pre-FS)



LNG Transportation by Railways

CNG Station



Refrigerated Truck

 This project's objective is to supply gas and cold heat, to places with underdeveloped gas pipelines and cold chains.

Seminars / Events



- ✓ In July 2023, NEDO / JETRO organized a seminar for on **Deep Tech Innovation and** Clean Energy.
- ✓ Speakers from METI Minister, NITI Aayog, CHT (under MoPNG), Greenko, Suzuki, IIT Kanpur, IHI, Hitachi Zosen, FICCI, TERI, 15 Japanese SUs etc.
- ✓ In March 2023, NEDO India organized a seminar for deliberating on Energy Transition and Finance (G7 & G20 collaboration).
- ✓ Speakers from PMO, NITI Aayog, BEE (under MoP), ISA, METI, MUFG, Power Finance Corp., IHI, TERI, CSEP, Gateway House etc.
- ✓ In March 2022, NEDO India hosted a seminar on **Hydrogen**. Speakers from NITI Aayog, MNRE, Kerala State, JBIC, TERI etc.



ADVERTORIAL **G7&G20** Partnership in Energy Transition

H E Hiroshi SUZUKI, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary, Embassy of Japan in India, talks about growing cooperation between India and Japan

OVID-19, Russia's aggression Gagainst Ukraine, and climate change - we are concerned that a series of global shocks and challenges that demand quick response will deteriorate global economic situation and cause further suffering to vulnerable populations. The leadership of the G20 and the G7 has become more important than ever this year, especially to ensure that energy issues do not exacerbate the situation, as now its impact is extending to food security.

Through 'Free and Open Indo-Pacific,' Japan and India are trying to deal with various difficult situations, including the worsening energy crisis

While global energy demand continues to grow, especially in Asia, the possibility for further energy price hikes and energy shortages due to the impact of COVID-19 and climate change, which have restricted upstream energy investment, has marked the world into a critical territory." In particular, Russia's aggression against Ukraine has triggered a rapid increase in demand for LNG in Europe, leading to a global spike in fuel prices.



India and Bhutan

INDIA-JAPAN SCRIPT AN EXPANDING **PARTNERSHIP FOR A SHARED FUTURE**

Etgreycell@timesgroup.com

echnology is redefining the Indo-Japanese partnership. The two nations are looking to tap into the opportunities presented by Japanese startups as well as large corporations, which are looking for technology and services partnerships to present their solutions to the world.

During his visit to India, the Economy, Trade and Industry Minister Yasutoshi Nishimura emphasised the key pillars that are driving the rapidly expanding business relationship between the two countries. With innovation and partnership,



Creation of future industries: India and Japan have identified cutting edge areas like digital services, clean energy, healthcare, mobility and electric vehicles and aerospace as areas of cooperation. Japan has also stressed on the collaboration



and bringing resilience to the semiconductor supply chain, to enhance bilateral cooperation in this sector. That had set the ball rolling for companies to ideate on finding the business opportunities in semiconductors and relevant fields.

India MSME sector.

Entering new markets: Several Japanese companies are making India their manufacturing base for exports, which contributes to India's 'Make for World' initiative. With

time high exports to Latin America and Africa, Daikin has announced plans to export air conditioners manufactured in India to 100 countries. Kubota is looking to expand to African markets as part of the India-Japan alliance.

India and Japan are identifying new technology areas to widen partnership, create new industries and reinvigorate the existing ones

> commitment of enhance energy cooperation between the two countries. With the two governments laying the ground for expanding the cooperation, the list of emerging sectors for expanding the business relationship is long hydrogen and ammonia, biofuel, CCUS, sustainable transport and electrical vehicle and battery, energy efficient buildings, and more. At the Indo-Japan Deeptech Innovation and Clean Energy Seminar last week, a number of startups from Japan also joined in, detailing their business. These startups companies are working in various technological fields such as

healthcare, AI, agritech, energy and

mobility, and drones.

20

Economic Security

Importance of Economic Security

- Recently, Japan, India, the United States and Australia have moved toward QUAD. It is expected that there is potential for collaboration (including technological collaboration) in the area of economic security between Japan and India.
- Against these backdrops, NEDO India promotes research on economic security and promote cooperation between 2 countries in this field.

• Economic Security



NEDO compiled this report in March 2022, with a support of Gateway House, an Indian think tank.

Individual Areas



Space



Semiconductor



Supported by Tech-Sci Research

AI



Quantum Computing

Collaborations in Drone fields

Technology collaboration

- ✓ Autonomy Holdings, Inc. (CEO: Prof Kenzo Nonami) and NewSpace Research and Technologies (NRT) (Based in Bengaluru) signed an MOU in July 2023, in order to explore collaboration opportunities.
- ✓ NRT conducted the first swarming demo flight in Japan in August 2023.



• Test site

- ✓ Fukushima Robot Test Field and Drone Federation of India (DFI) signed an MOU in March 2022.
- ✓ This MOU is expected to promote the exchange of information on international standardization and testing technologies related to UAVs.



• Drone manufacturing



✓ ACSL, a leading drone makers in Japan, INDIA established a JV in India in May 2022, and will manufacture industrial drones in India through this JV.



ACSL SOTEN



 SkyDrive and Suzuki signed a collaboration agreement in March 2022, with the aim of commercializing Advanced Air Mobility (Flying Taxi), with a view to developing it in India.



Thank you for your attention!



NEDO New Energy and Industrial Technology Development Organization NEW DELHI OFFICE _____

GLOBAL SYNERGY WITH TECHNOLOGICAL CO-OPERATION

We promote demonstration and R&D of advanced Japanese technologies overseas that contribute to the achievement of 3E+S (energy security, economic efficiency, environmental friendliness, plus safety) which then helps lead to the dissemination of the demonstrated technology.

VIEW MORE

WHAT'S NEW \rightarrow

ACCELERATING INNOVATION

NEDO India Website Twitter LinkedIn

0

V

in

Website : https://www.nedonewdelhi.in/
Twitter : https://twitter.com/NedoNewDelhi
LinkedIn : https://in.linkedin.com/in/nedo-new-delhi-92134021b

QR Code for Twitter

